

学習成果を把握(測定)する方法

	時期	方法	学習成果・学位授与方針との関連
文学部	初年次教育	初年次における「基礎ゼミ」等における取り組み、成果を通じて、測定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問題を発見し解決していく思考力や調査力を有している(DP2)。</li> <li>・自らの考えを論理的に表現できる文章力やプレゼンテーション能力を有している。また、他者と協力し議論しながら多角的に問題をとらえることができる(DP3)。</li> </ul>
	基礎・専門教育段階	各学科の専門科目、市ヶ谷リベラルアーツ科目、文学部共通科目、他学部・他学科公開科目における試験やレポートの成果、アクティブ・ラーニングの取り組みや成果を通じて、測定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門分野の学問内容や研究方法を理解している。また、幅広い教養を備えている(DP1)。</li> </ul>
	ゼミ教育段階	ゼミナールにおける研究発表やレポートを通じて、測定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら問題を発見し解決していく思考力や調査力を有している(DP2)。</li> <li>・自らの考えを論理的に表現できる文章力やプレゼンテーション能力を有している。また、他者と協力し議論しながら多角的に問題をとらえることができる(DP3)。</li> </ul>
	卒業時	卒業論文、単位修得状況、成績評価等を通じて、測定を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各専門分野の学問内容や研究方法を理解している。また、幅広い教養を備えている(DP1)。</li> <li>・自ら問題を発見し解決していく思考力や調査力を有している(DP2)。</li> <li>・自らの考えを論理的に表現できる文章力やプレゼンテーション能力を有している。また、他者と協力し議論しながら多角的に問題をとらえることができる(DP3)。</li> </ul>